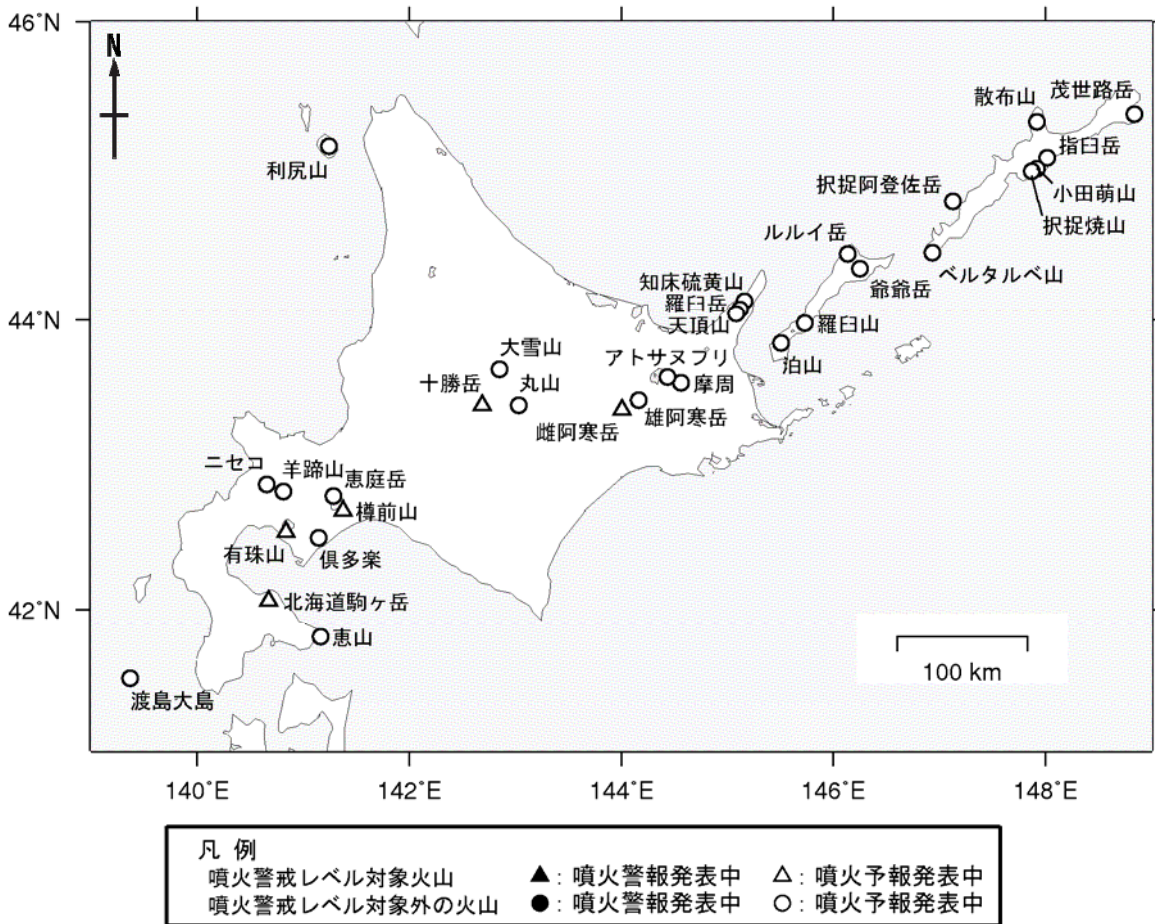


管内月間火山概況（平成26年1月）

札幌管区气象台
火山監視・情報センター

噴火警報及び噴火予報の発表状況（1月31日現在）

| 警報・予報 | 噴火警戒レベル及びキーワード | 該当火山 |
|-------|----------------|--|
| 噴火予報 | レベル1（平常） | 雌阿寒岳、十勝岳、樽前山、有珠山、北海道駒ヶ岳 |
| | 平常 | 知床硫黄山、羅臼岳、天頂山、摩周、アトサヌプリ、雄阿寒岳、丸山、大雪山、利尻山、恵庭岳、倶多楽、羊蹄山、ニセコ、恵山、渡島大島、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山 |



※噴火警戒レベルは、地域防災計画等でその活用が定められている火山で運用しています。

この管内月間火山概況は札幌管区气象台のホームページ(<http://www.jma-net.go.jp/sapporo/>)や気象庁のホームページ(<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>)でも閲覧することができます。

この資料は気象庁の他、国土交通省北海道開発局、国土地理院、北海道大学、独立行政法人防災科学技術研究所、独立行政法人産業技術総合研究所、北海道、地方独立行政法人北海道立総合研究機構地質研究所及び森町のデータも利用して作成しています。

次回の管内月間火山概況（平成26年2月分）は平成26年3月10日に発表する予定です。

各火山の活動状況及び予報警報事項

主な火山の活動状況は以下のとおりです。予報警報事項に変更はありません。

アトサヌプリ〔噴火予報（平常）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

雌阿寒岳〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）〕

火山活動は概ね静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

全磁力連続観測によると、96-1火口地下の温度が上昇している可能性があります。今後の火山活動の推移に注意してください。

大雪山〔噴火予報（平常）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

十勝岳〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）〕

火山活動は概ね静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

ここ数年、山体浅部の膨張や大正火口の噴煙量増加及び地震増加や発光現象などが観測されています。また、山麓の温泉成分にわずかな変化が認められています。今後の火山活動の推移に注意してください。

樽前山〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）〕

2013年7月から活発化した山体西側を震源とする地震活動は、9月以降低調に経過しています。山頂溶岩ドーム直下の地震活動も低調で、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められませんが、今後の火山活動の推移に注意してください。

山頂溶岩ドーム周辺では1999年以降、高温の状態が続いていますので、突発的な火山ガス等の噴出に注意してください。

倶多楽〔噴火予報（平常）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

有珠山〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

北海道駒ヶ岳〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

恵山〔噴火予報（平常）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

上記以外の火山の活動状況に特段の変化はなく、予報警報事項に変更はありません。